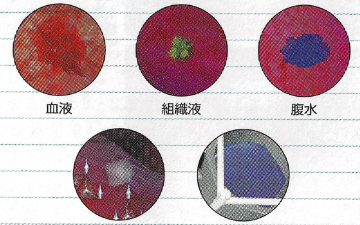
…ドレーン

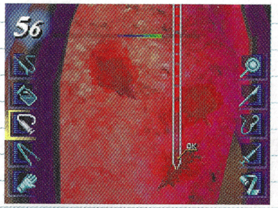


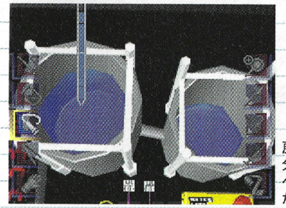
長い管を使って血や水などの液体や気体を吸引する器具。ドレーンを手にして吸引したい部分をタッチすると、長い管が出現。その状態で管をなぞるようにタッチペンを下から上にスライドさせると、液体や気体を吸引できるが、スライドの距離が長いと吸引量は増え、短いと減ってしまう。1回で吸引しきれなかった場合は、再度吸引口にタッチしてスライドさせよう。なお、患部にタッチしたあと、上から下へスライドさせると、吸い上げたものを戻すことができる。

おもな用途 血液や腫瘍の組織液、気体の吸引

■対処例


血液　組織液　腹水　気体　水


吸いたい部分にタッチしてペンを上にスライドさせよう。OK！とでれば吸い上げ完了!!


戻すときは戻したい部分をタッチし、いったんペンを離してから、上から下へスライド。

…ピンセット

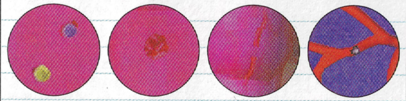


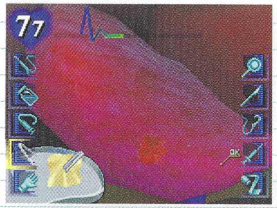
異物の摘出や人工膜の移植、血管や傷口のクリッピングや吻合などに使用。異物摘出では、取り除きたい異物をタッチし、そのまま左下にでるトレイへと移動させてからペンを離せば終了。ただし、ガラス片や楔など、人体に刺さったものを摘出する場合は、傷口から垂直にペンを動かし、完全に抜き取ってからトレイへと移動させよう。なお、摘出の際、トレイへ移すまえにペンを画面から離すとMISSになるので注意。

また、血管の吻合や広がった傷口を塞ぐ際にもピンセットを使う。吻合では離れた血管の片側をタッチし、もう片方の血管の上までスライドさせよう。傷口を閉じる場合は、傷口をまたぐようにペンをスライドさせて開いた傷口を閉じ、縫合可能な状態を作っていく。

おもな用途 異物の摘出や傷口のクリッピング、血管の吻合

■対処例


異物摘出　人工膜移植　血管吻合　クリッピング


人工膜の移植が必要な際は、ピンセット選択時に、左下に人工膜をのせたトレイが出現。


傷口をまたぐようにペンをスライド。時間がたつと開くので、その後の処置はお早めに。

…手（超執刀）



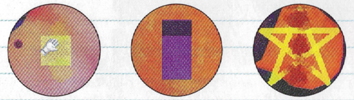
手は人工膜の定着や心停止の時の心臓マッサージに使う。人工膜はヒールゼリーを塗ったあと、貼りつけた膜の上をさするようにスライドさせることで定着させられる。

心臓マッサージは心停止が起こったあと、画面中央にでるガイドにヒールゼリーを塗り、黒い心拍（プルス）バーにあわせてペンを上下にスライドさせるのが一般的な処置方法だ。成功すると「ピロロ」という音がするので、それを目安に往復させれば心拍を戻すことができる。

また、ストーリーが4－2まで進むと使えるようになる超執刀を発動させるときにも、手のアイコンを使う。手のアイコンを2回タッチすると、☆のアイコンにかわるので、アイコンがかわったら下画面に超執刀のマーク☆を描こう。

おもな用途 人工膜の定着や心臓マッサージ、超執刀の発動

■対処例


人工膜定着　マッサージ　超執刀


多少時間はかかってしまうが、写真の位置をタッチしておくだけでもOK！はもらえる。


ピンチの際は超執刀！なのだが、1回の手術につき一度しか使えないことをお忘れなく。

…スキャナ



スキャナにはエコーとルーペのふたつの使い方がある。エコーは臓器や血管の内側に潜む病巣や、寄生体の影を見つけるときに使用。調べたい場所をタッチすると、タッチした部分を中心に波紋が広がり、波紋の範囲内に異物があれば影が浮き上がる仕組みになっている。タッチ部分から異物への距離が近ければ長時間影を投影し、遠ければ短時間で消えてしまう。

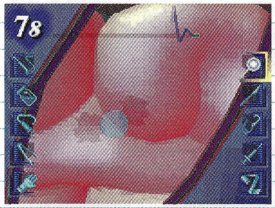
緻密な処置が必要なときは、ルーペとして使用。術野を拡大してから行なう。拡大したい部分をペンで円を描いて囲むと、その部分が拡大される。拡大を解除したい場合は、もう一度画面に円を描いてもとの倍率に戻そう。

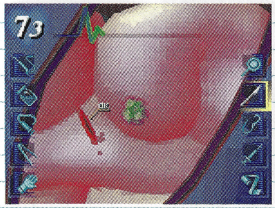
なお、ルーペとスキャナは、必要に応じて自動的に切り替わる。

おもな用途 患部の拡大や拡大の解除、腫瘍や寄生体の影の探知

■対処例


腫瘍探知　寄生体探知　患部拡大


探りたい部分をタッチ。タッチした部分から病巣が近ければ影が浮き上がってくる。


対象が動かなければ、影が消えても、影のあった場所にメスを入れれば切開できる。